子ども支援レポート④

ヤオコーでは、2020 年 9 月から、埼玉県、埼玉県社会福祉協議会、アサヒロジスティクス㈱様のご協力のもと、埼玉県下の生活にお困りの子育て世帯を対象にしたお米の支援を開始し、2022 年 8 月で丸二年が経ちました。そして、この子ども支援を一時的なものではなく継続的な取り組みとするため、2021 年 3 月に「一般財団法人 ヤオコー子ども支援財団」を設立し、2021 年 9 月より財団でこの活動を引継ぎました。これまで同様、毎月 1 回埼玉県福祉部および埼玉県社会福祉協議会のご協力のもと、埼玉県内にあるフードパントリーと子ども食堂へ、お米をお届けしております。

お米の支援		配布エリア	個数	≠□数	こども食堂	フード パントリー	配布団体 の合計
14	2022年10月	越谷市	151	802	17	12	29
15	2022年11月	川口市	119	650	13	6	19



2022年10月 越谷エリア 151袋 (802 %)

今回で 4 回目になる越谷市場での荷下ろし場所です。埼玉フードパントリーネットワークの代表草場さんもお手伝いに来てくださっておりました。ここは男性ボランティアの方が多いので、毎回見事な連携で手際よく、あっという間に荷下ろしをしてくださいました。



2022年11月 川口エリア 119袋 (650 %)

さがみ典礼川口駅前葬祭センターさんへの荷降ろしは、2回目となりますが、このエリアへのお届けは3回目となり、ボランティア自体が初めての方もいらっしゃいましたが、とてもスムーズに荷下ろしをしてくださいました。トラックからお米を降ろす際、予め子ども食堂とフードパントリーで分けて対応したことで、それぞれの団体へ分配するお米の数が一段と早く確認できるようになりました。